



桐陰煎茶図(部分)
山本梅逸 江戸時代 個人蔵

— 山本梅逸と尾張・三河の文人文化 —

煎茶

企画展

SENCHA

Literati Painter Yamamoto Baiitsu and Bunjin Culture in Owari Province and Mikawa Province



螺鈿葡萄唐草文盆 明時代 個人蔵



煎茶具取り合わせ・売茶流 (模範：山本梅逸)

2016.1.16(土) — 3.27(日) 愛知県陶磁美術館 本館 第1・第2展示室

〔主催〕愛知県陶磁美術館 〔共催〕中日新聞社 〔後援〕愛知県教育委員会・愛知高速交通株式会社(リニモ)・一般社団法人 全日本煎茶道連盟

〔開館時間〕午前9時30分から午後4時30分まで(入館は午後4時まで) *ただし1月16日(土)は、開会式のため午前11時より

〔休館日〕毎週月曜日(ただし3月21日(月・祝)は開館、3月22日(火)は休館)

〔観覧料〕一般 600円(480円) 高大生 500円(400円) 中学生以下無料 (()内は20名以上の団体料金)

〒489-0965 愛知県瀬戸市南山口町234 TEL 0561-84-7474 FAX 0561-84-4932 <http://www.pref.aichi.jp/touji>



愛知県陶磁美術館
セラミウム AICHI PREFECTURAL CERAMIC MUSEUM

割引引換券 100円割引

一般600円→500円/高校・大学生500円→400円/中学生以下無料
本券1枚につき1名、上記割引料金でご観覧いただけます。他割引との併用はできません。

割引引換券 100円割引

一般600円→500円/高校・大学生500円→400円/中学生以下無料
本券1枚につき1名、上記割引料金でご観覧いただけます。他割引との併用はできません。

割引引換券 100円割引

一般600円→500円/高校・大学生500円→400円/中学生以下無料
本券1枚につき1名、上記割引料金でご観覧いただけます。他割引との併用はできません。

煎茶

企画展

SENCHA

Literati Painter Yamamoto Baiitsu and Bunjin Culture
in Owari Province and Mikawa Province

日本における煎茶は、黄檗僧であった売茶翁・高遊外(1675-1763)によって、京都を中心とした知識人の間に広められました。そして、江戸時代後期には、煎茶は抹茶を喫する伝統的な「茶の湯」の形式化が進んでいたことへの反発に加え、同時代の中国文化への憧れを基調とした文人趣味の勃興によって急速に普及し、明治時代前期頃までは煎茶文化の大流行が続きました。

本展覧会は、売茶翁・高遊外所持を含む数々の煎茶具を紹介するとともに、江戸時代後期から明治に華開いた尾張・三河の煎茶文化を、名古屋出身の文人画家・山本梅逸(1783-1856)と三河の八橋売茶翁・方巖(1760-1828)、中国から渡来し常滑に朱泥急須の技術を伝えた金士恒(生没年不詳)などにスポットを当てて紹介するものです。



交趾釉水注
清時代 個人蔵



朱泥茶鉢 銘紅頭少年
宜興窯(玉川珍銘) 清時代 個人蔵



松下弾琴図 渡辺華山
天保3年(1832) 田原市博物館蔵
※期間中展示替えがあります。



白泥涼炉 霞傾宝鼎 八橋売茶翁所持
江戸時代 個人蔵



(左) 白泥二重涼炉 初代清水六兵衛 江戸中～後期 個人蔵
(右) 素焼湯沸 初代清水六兵衛 江戸中～後期 個人蔵



清姫帖 山本梅逸
江戸時代 個人蔵



備菓(飯売茶翁所持)表千家了々斎、碌々斎書状張)
田能村直入筆(前戸) 明治42年(1909) 個人蔵

関連事業

・煎茶会

日時：① 1月16日(土) 午前11時から
② 3月27日(日) 午前11時から

※呈茶券500円 ※先着50名

※煎茶会は会期中に追加で開催する予定です。
詳細につきましては、予定が決まり次第当館公式HPにてご案内いたします。

・記念講演会①「煎茶文化の展開一幕末～明治初期を中心に～」

日時：1月23日(土) 午後1時30分～3時
講師：守屋雅史氏(大阪市立美術館学芸課長)

・記念講演会②「時代の煎茶器」

日時：2月6日(土) 午後1時30分～3時
講師：高取友仙庵氏(煎茶道売茶流家元)

・記念講演会③「唐物煎茶器の展開」

日時：3月5日(土) 午後1時30分～3時
講師：森達也氏(沖縄県立芸術大学教授)

※講演会の会場は、当館本館地下講堂
※参加費無料、予約不要

・担当学芸員による展示解説

日時：1月30日(土)、2月20日(土)、3月12日(土)
※各日午後1時30分～1時間程度
※参加費無料(ただし観覧券が必要)、予約不要

※割引制度 リニモ「藤が丘」「愛・地球博記念公園」「陶磁資料館南」「八草」各駅に設置の割引チラシ(リニモ利用者に限る)／リニモ「一日乗車券」／名古屋市内交通「一日乗車券」および「ドニチエコきっぷ」／モリコロパーク駐車場再入場券／名都美術館有料観覧券の半券(2ヶ月以内)を持参の方は観覧料が2割引となります。
※チラシ等の割引引換券またはJAF会員証持参の方は観覧料が100円引きとなります。
※身体等に障がいのある方および付添者は手帳を受付にて呈示されますと割引制度が適用(割引要件あり、詳しくは公式WEBサイトをご覧ください)されます。
※各割引制度の併用はできません。

次回展覧会

特別企画展 沖縄の工芸 4月16日(土)～6月19日(日)

瀬戸市内の展覧会

・瀬戸市美術館

特別展「瀬戸国際セラミック&ガラスアート交流プログラム
招聘作家展2015-2016」
2月6日(土)～3月27日(日) 問い合わせ：TEL 0561-84-1093

・瀬戸蔵ミュージアム

企画展「明治に生まれた美麗なやきもの一石目焼」
2月13日(土)～5月8日(日) 問い合わせ：TEL 0561-97-1190

・瀬戸市新世紀工芸館

「瀬戸市新世紀工芸館第12期研修生修了作品展・第13期研修生作品展」
1月30日(土)～3月20日(日) 問い合わせ：TEL 0561-97-1001

・瀬戸染付工芸館

企画展「瀬戸・美濃—明治染付の共演」
1月6日(水)～3月28日(月) 問い合わせ：TEL 0561-89-6001

<アクセス>

■公共交通機関：地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、リニモ「藤が丘」から「八草」行き「陶磁資料館南」駅下車、徒歩600m/名鉄瀬戸線終点「尾張瀬戸」駅下車、「瀬戸駅前」のりば1から名鉄バス「愛野岡地」経由「愛・地球博記念公園」行き「陶磁美術館」下車(土・日・休日のみ)/愛知環状鉄道「八草」駅下車、リニモ「八草」から「藤が丘」行き「陶磁資料館南」駅下車、徒歩600m
■自家用車(駐車場無料：250台収容)：東名高速道路「日進JCT」経由、名古屋瀬戸道路「長久手IC」から瀬戸方面に約5km/東名高速道路・名二環道「名古屋IC」から瀬戸・豊田・足助方面に約10km/東海環状自動車道「せと赤津IC」から長久手方面に約7km
■タクシー：地下鉄東山線・リニモ「藤が丘」駅から約20分/名鉄瀬戸線「尾張瀬戸」駅から約15分

